



子供たちの可能性を引き出すとは

校長 中川 こずえ

先日は、授業参観及び懇談会にお越しいただき、ありがとうございました。学習の様子を見ていただき、子供たちも嬉しかったことと思います。

6年生の外国語の授業で、誰とでも英語でコミュニケーションを取れるようにとペアを次々に変えて伝え合う活動をしています。その中で、堂々と臆せず会話をしている一人の児童に目が行きました。二人目、三人目、とペアが変わっていく過程であることに気が付きました。

その児童とペアになる児童は、皆、笑顔が増え、ジェスチャーも声も大きくなり、より楽しそうに会話をしているのです。「なぜだろう」と思って見ていると、その児童には、①自分からHello! ②笑顔③相手の会話に対してリアクションを自然にしている④間違えても気にしない等の特長がありました。もちろん、外国語の授業のみならず、普段から話しやすい人柄だということが分かります。

相手のコミュニケーション能力を引き出すことができる素晴らしい資質です。この児童は数年後の自身の居場所でも、きっとこのような対応ができ、周囲の人の心を開いていくのだろうな、と想像ができます。多様な人々と協働しながら、変化を乗り越えていく必要があるこれからの時代にとっても必要な力です。

現在、子供たち一人一人の持っている可能性を引き出すために、知・徳・体を一体的に育み、「個別最適学び」と「協働的な学び」を充実させることが求められています。小学校という発達段階で子供たちの可能性を引き出すためには、バランスよく学び、様々な体験をすることがより重要だと考えます。この児童は、これまでの知識や技能の積み重ねをもとに会話をして友達の可能性を見事に引き出していました。

このようなことから、来年度は、特色で伝統ある運動・体育好きな児童の育成に加え、知・徳・体をバランスよく学ぶことや、保護者の皆さまや地域の方々から応援いただいている行事は、見直しを図りつつ大切に「行事で育てる」ことをさらに意識して取り組んでまいります。

また、安全会議等でご指摘いただいている登下校時や放課後等の交通安全、地域の課題でもある水害、地震等の防災、SNS・ネット等の安全、SOSの出し方等の心の安全などのあらゆる安全について、授業と関連づけながら自分事として捉えることができるよう工夫をしております。学校運営協議会で協議いたしました災害時の避難所開設についても、委員の方や市の危機管理防災課のご協力により「避難所運営委員会」が今年度中に立ち上がることとなりました。

さらに、学校運営協議会や保護者の皆さまからのご意見も参考にさせていただきながら、「彦成小よいこの約束」の見直しを図りました。主に「身だしなみ」の項目について来年度から変更があります。何卒、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

今年度のまとめの時期となり、成長していく子供たちの姿を見るのが楽しみです。引き続き、よろしくお願いいたします。

HPはこちら

児童数 計450名 (令和7年2月28日)

1年 74名 2年 52名 3年 87名
4年 86名 5年 60名 6年 76名 けやき15名

日曜	行事等	下校時間						放彦 クラ
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	
3月	全校朝会 新旧地区理事会☆							バレー
4火	校内長なわ大会★（8：15～）							
5水	クラブ活動 校内長なわ大会予備日①★							
6木	諸集金再引き落とし日 校内長なわ大会予備日②★							
7金	けやき校外学習							
8土								
9日								
10月	感謝の会 クラブ活動							なし
11火	学期末日課開始							
12水	4～6年6時間授業 1・2・3年5時間授業							
13木	卒業式予行							
14金								
15土								
16日								
17月								
18火	全学年5時間授業							
19水	全学年5時間授業 給食最終日 一斉下校							
20木	春分の日							
21金	普通日課3時間 お別れ式							
22土								
23日								
24月	卒業証書授与式 1～4年臨時休業日							
25火	特3日課 6年臨時休業日							
26水	特3日課 修了式 6年臨時休業日							
3月27日（木）～4月7日（月）学期末・春季休業日 4月4日（金）5年生準備登校								

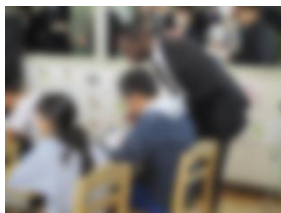
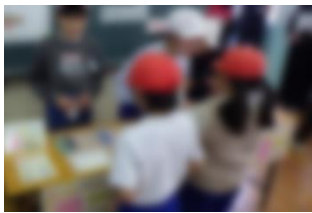
★保護者参観可能

☆PTAの会議前後に参観可能です。

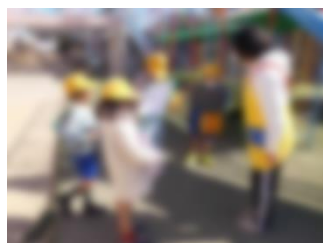
彦成小の2月～気力あふれる学校をめざして～

2/7 外国語活動・外国語科研究発表会

市内の先生方にへ
1年間の外国語の研究の成果を発表しました。



2/26 2年生町探検 たくさんの施設・店舗の方に御協力をいただきました。また、保護社の皆様に見童の引率をしていただきました。ご協力ありがとうございました。



ご協力いただいた店舗・施設様
(順不同・敬称略)
篠田石材工業 スーパービバホーム
セブンイレブン三郷彦野一丁目店
JA さいかつ彦成南支店 三郷彦成郵便局
上口保育所 ちくみ幼稚園
延命院 東光院
ありがとうございました

2/12 学校関係者評価委員会 学校運営協議会

委員の皆様にご今年度の教育活動について
評価をいただきました。(評価について右側
をご参照ください。)また、学校運営協議会では、
「令和7年度版 彦成小よい子の約束」について
御意見をいただきました。



《先生のおすすめの本》

2年1組 担任

「はつゆき」 西片拓史 作・絵

みなさんは、本を選ぶとき、どうやって選んでいますか。読みやすそう、面白そう、いろいろな理由で本を選んでと思います。この本は、【絵の色がとてもきれいな本】です。本を開いたら、描かれている絵をじっくりみてください。文はひらがなで書かれているので、1年生から読むことができます。学校図書館の「冬に読みたい本」のコーナーにあります。ぜひ、手に取ってみてください。



第2回 ひこないしゃべり場開催

2月27日 本校職員・保護者・三郷市青少年課 尾形専門員が参加し「スマホ」についての情報交換を行いました。尾形専門員からは、1学期に行った児童・保護者対象のアンケートの結果から、児童と保護者の間で、ルールの認識のずれがあるため、今一度家庭で話す機会が必要であるとの話がありました。また、保護者同士の交流では、各家庭の現状を情報交換をしたり、スマホと思春期を迎える子供たちとの関わり方について相談したりと大変有意義な時間となりました。来年度も開催を予定しておりますので、ぜひ参加をお待ちしています。

(右のQRコードより青少年課より紹介のあった子育てハンドブックがご覧になれます。)



評価項目	評価項目	No.	質問項目	学校自己評価結果	学校関係者評価結果	学校自己評価についての評価の説明及び学校の考え
組織運営等の状況	教育目標	1	学校は、児童・生徒及び家庭・地域の実情を踏まえ、適切な目標を設定し組織的に取り組んでいる。★	3.60	4.00	(前年比+0.04) ・毎月の全校朝会や学校だよりでは、校長の考えがわかりやすく伝えられている。
		2	学校は、PDCAサイクル(計画・実行・評価・改善)のもと、学年・学級や教科・分掌等の経営にあたっている。	3.55		(前年比+0.02) ・行事反省を全体で共有し、次年度に向け意見を出し合う場があるとよい。 ・学期末に管理職・教務副教務による学期の反省が行われ、反省を集約できているのがよい。
		3	学校は、特色ある学校づくりの観点から教育内容の重点化を図っている。	3.75		(前年比+0.01) ・外国語の発表だけでなく、伝統の体育の研究も並行して進められているのがよい。
		4	学校は、特色ある学校づくりのテーマのもと、教職員の共通理解を図り、「夢を育む教育」に組織的に取り組んでいる。★	3.65	4.00	(前年比+0.12) ・ゲストティーチャーの授業も充実していた。 ・放課後彦成クラブを通して豊かな体験活動が進められている。
	資力向上	5	学校は、教職員の不祥事根絶をするための取組をしている。	3.90		(前年比+0.09) ・倫理確立委員会や打ち合わせなどの事例研究が、不祥事防止を自分事としてとらえるよい機会となっている。
		6	学校は、教職員の指導力向上に向け、計画的・組織的に研修に取り組んでいる。	3.90		(前年比+0.04) ・月例研修など指導力について話し合う場面が充実している。
授業等の状況	学力向上	7	学校は、ICTを効果的に活用し、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善に取り組んでいる。	3.05		(新たな設問) ・タブレットの不調が多い。 ・ICTの研修や実践を共有する場を設けていきたい。
		8	学校は、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、児童生徒に基礎的・基本的な学力を身に付けさせている。	3.40		(新たな設問) ・個別指導の時間があまりとれない。
	授業規律	9	学校は、教職員の共通理解を図り、「授業の心得」に基づき指導にあたっている。	3.65		(前年比+0.17) ・全体的に規律が保たれている。
		10	学校は、児童生徒が落ち着いた雰囲気の中で学習できるように、授業を展開している。★	3.60	4.00	(前年比+0.02) ・行事の精選もされてきて、授業時間をしっかり確保されている。
	読書のまち	11	学校は、図書館経営を充実させ、読書活動を推進している。★	3.45	3.88	(前年比+0.16) ・授業での活用場面をもっと増やしていけるようにする。
		12	学校は、児童生徒が主体的に読書活動に取り組めるよう指導している。★	3.25	3.63	(前年比+0.25) ・委員会活動を活用した学校全体の取り組みを増やしていきたい。
	健康体力	13	学校は、規則正しい食事の大切さを理解させ、食に関する意識を高めようとしている。	3.26		(前年比+0.02) ・コロナ禍で制限の多かった食育について、少しずつ行っていけるように工夫をしていきたい。
		14	学校は、児童生徒が体力向上に向け、授業や部活動・外遊びに意欲的に取り組めるよう指導している。★	3.84	3.88	(前年比+0.02) ・朝の運動や業間運動が整備され、体力向上が効率よく進められている。 ・運動に消極的な児童に対して更なる手だてを講じていきたい。
	読書のまち	15	学校は、児童生徒や地域の実態に応じて、道德教育の改善に取り組むとともに道德教育を積極的に推進している。	3.20		(前年比+0.1) ・あいさつの強化を中心に、児童同士や地域に対して関心をもてる児童を育てていきたい。
		16	学校は、教育活動全体を通して、よりよく生きるための基盤となる道德性を養うとともに、道德的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成に努めている。	3.30		(前年比+0.16) ・各学年の実態に応じた道德的なアプローチを進められている。
	生徒指導・管理の状況	17	学校は、教職員が自ら手本となり、児童生徒に対し規範意識を高める指導を行っている。	3.70		(前年比+0.22) ・若い教員向けの育成塾を研修に位置付け、児童との関わり方を高めた。
		18	学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつができるように指導している。★	3.35	3.75	(前年比+0.36) ・挨拶の指導について教員間で差がある。教員間で共通した指導を心がけていく。 ・校内放送や児童会の取り組みなど工夫が見られた。
		19	学校は、児童生徒が「です、ます」をつける等、場に応じた言葉遣いができるよう指導している。	3.35		(前年比+0.02) ・授業を中心に、意識して丁寧な言葉遣いができるよう指導を継続する。
		20	学校は、児童生徒の不登校や問題行動に対し、共通理解を図り組織的に対応している。	3.85		(前年比+0.23) ・学校だけでは対応が難しいケースが多く、SSWやSC等の活用が今後必要である。 ・学年や各クラスの課題を共有、相談ができる場をさらに増やしていきたい。
		21	学校は、保護者(必要に応じ関係機関)と連携を図り、児童生徒の指導にあたっている。	3.50		(前年比+0.26) ・親子学習の場がもつとあるとよい。 ・「彦成しゃべり場」のような保護者間の関わり場の場を増やしていきたい。
		22	学校は、いじめの早期発見、早期対応に努めている。★	3.70	3.75	(前年比+0.11) ・引き続き、管理職による教室訪問や、教科担任制等を生かし、児童の様子を確認していく。 ・担任が欠席時の様子の確認をするようにする。
家庭地域との連携状況	安心・安全	23	学校は、事故やトラブルに対するマニュアルを作成・揭示し、迅速に対応できる体制を整えている。	3.60		(前年比+0.17) ・日頃より訓練やマニュアルの確認を行う。
		24	学校は、定期的に安全点検を実施し、計画的に安全指導を行う等、日頃から安全な教育環境づくりに取り組んでいる。★	3.60	4.00	(前年比+0.12) ・毎月の安全点検を実施している。 ・今年度遊具の修繕を実施した。
	教育環境	25	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れる等、組織的に環境美化に取り組んでいる。★	3.40	4.00	(前年比+0.03) ・研修である外国語を中心に学習に関する掲示が充実した。
		26	学校は、組織的に働き方改革を進めている。	3.50		(前年比+0.21) ・時間外勤務45時間0の職員が増えた。 ・教員間の意識の差がまだある。職員間や管理職からの声掛けで今後も働き方改革を進めていく。
		27	学校は、学校だよりやホームページ等で、教育活動の様子や成果・課題等について情報を発信している。★	3.65	4.00	(前年比+0.02) ・週3回以上のHP更新がなされて学校の様子が発信されていた。
	家庭・地域との連携	28	学校は、保護者や地域と連携し、親の学習や学校応援団の活用を図っている。★	3.55	4.00	(前年比+0.21) ・授業と連携したボランティアを増やしていけるにしたい。
		29	学校は、PTA活動や地域活動に積極的に協力している。★	3.75	4.00	(前年比+0.06) ・PTA資源回収に多くの教員が協力している。

★マークが付いている評価項目については、必ず学校関係者評価を実施する。

評価 4 十分できている 3 できている 2 あまりできていない 1 できていない